




福島県立図書館 <https://www.library.fcs.ed.jp/>

News

子ども読書の日・こどもの読書週間について

4月23日は、「子ども読書の日」です。また、この「子ども読書の日」である4月23日から5月12日までの約3週間は、「こどもの読書週間」として、定められています。以下のURLでは、子どもの読書に関する全国の実践事例などを公開しています。

 子ども読書の情報館 HP(文部科学省)
<https://www.kodomodokusyo.go.jp/>

青少年の健全な育成に有益な書籍について


福島県青少年健全育成審議会の答申から、令和5年2月7日付けで、下記の4作品が推薦書籍として指定されました。

『おこめをつくるのうふののふさん』(室井 さと子／作 新日本出版社 2021.10)

『伝え守る アイヌ三世代の物語』(宇井 眞紀子／写真・文 少年写真新聞社 2021.12)

『戦争をやめた人たちー1914年のクリスマス休戦』(鈴木 まもる／文・絵 あすなろ書房 2022.5)

『ひまりのすてき時間割』(井嶋 敦子／作 童心社 2021.11)

 福島県こども・青少年政策課 HP
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/21055a/>

Event

【オンライン講演会】「学校図書館改革を戦略的に考える:探求学習、教育 DX、情報リテラシー、読解力…」

[日時]2023年3月26日(日)14時~16時

[講師]根本彰 氏(SLIL顧問)

[参加費]500円(返金不可)

[申込]SLIL のHPより申込可能

※申込期限は2023年3月24日(金)24時まで

【オンライン講座】「いま読みなおしたい海外児童文学『指輪物語』の作者が愛した神話とエルフ語」

≪第1回 著書 J・R・R・トールキンの生涯について≫
(終了)令和5年3月1日(水)19時~19時30分

≪第2回 『指輪物語』と北欧神話について≫
3月15日(水)19時~20時30分

≪第3回 『指輪物語』とエルフ語について≫
3月29日(水)19時~20時30分

[講師]伊藤尽 氏(信州大学教授)

[参加費]全3回 3,000 円(セット割)
各回 1,200 円

[申込] JPIC の HP より申込可能



【展示】「生誕110年 傑作誕生・佐藤忠良」

[会期]2023年2月4日(土)~3月26日(日)

※会期中、一部作品の展示替えを行います。

前期:2月4日(土)~2月26日(日)

後期:2月28日(火)~3月26日(日)

[開館時間]9時30分~17時 ※月曜日は休館

[場所]宮城県美術館本館 2階展示室

[料金]一般 1,200 円/学生 1,000 円

小・中・高校生 600 円



【展示】萬画の国・いしのまき 石ノ森萬画館第88回

特別企画展「十二国記」山田章博原画展

[会期]2023年1月21日(土)~4月9日(日)

[開館時間]9 時~17 時

[休館]火曜日 ※ただし3月21日、3 月28日、

4 月 4 日は開館、3 月 22 日(水)は休館

[場所]石ノ森萬画館 2階企画展示室

[料金]大人 900円/中高生 600円

小学生250円/未就学児無料(常設展観覧料含む)



海外受賞作品 邦訳図書紹介

海外の主な児童文学賞受賞作品で、近年翻訳されている図書を紹介します。



カーネギー賞

【2020 年受賞作】

『荒野にヒバリをさがして』(アンソニー・マゴワン／作 野口絵美／訳 徳間書店 2022.2)



ケイト・グリーナウェイ賞

【2022 年 シャドウーズ・チョイス賞】

『まよなかのゆうえんち』(ギデオン・ステラー／作 マリアアラ・ディ・ジョルジオ／絵 BL 出版 2022.12)



コルデコット賞

【2023 年 オナー賞】

『夜をまもる騎士アウル』(クリストファー・デニス／作 中井はるの／訳 化学同人 2023.2)



ニューベリー賞

【2021 年受賞作】

『トラからぬすんだ物語』(テエ・ケラー／作 こだまともこ／訳 評論社 2022.6)



ボストングローブ・ホーンブック賞

【2022年受賞】

『お月さんのシャーベット』(ペク・ヒナ／作 長谷川義史／訳 ブロンズ新社 2021.6)



スコット・オデル賞

【2018年受賞作】

『この海を越えれば、わたしは』(ローレン・ウォーク／作 中井はるの、中井川玲子／訳 さ・え・ら書房 2019.10)



エルサ・バスコフ賞

【2017年受賞作】

『うっかりおじさん』(エマ・ヴィルケ／作 きただいえりこ／訳 朔北社 2019.8)



ストレーガ・ラガッツェ・エ・ラガッツィ賞

【2022年 最終候補作[+11部門 ※11歳～13歳が対象]】

『魔女だったかもしれないわたし』(イル・マニコル／著 櫛田理絵／訳 PHP 研究所 2022.8)

【2022年 候補作[+11部門 ※11歳～13歳が対象]】

『詩人になりたいわたし X』(エリザベス・アセヴェド／訳 田中亜希子／訳 小学館 2021.1)

【2022年 受賞作[MNPI 部門 ※6～13歳の読者向け絵本、グラフィックハル、コミックが対象]】

『旅する小舟』(ペーター・ヴァン・デン・エンデ／著 岸本佐知子／訳 求龍堂 2021.11)